

おあしす



特定医療法人 南山会

親切 安心 信頼

峡西病院・峡西老人保健センター・きづな
・アルプス訪問看護ステーション

2023

12

第37巻12号
(通巻436号)



曾根丘陵公園に落ち葉を見に行ったら、つわぶきの花に出会いました。12月にもなると野の花が咲いているのを見かけることは少なくなりますが、公園などで冬を彩る花として活躍する花です。濃い緑色で艶があり分厚いフキのように丸い葉っぱをいくつも生やし、3～5cmほどの菊に似た黄色い花をたくさん咲かせます。つわぶきの花言葉は「謙譲」、「困難に負けない」です。「謙譲」は日の当たらない場所でもけなげに咲いていることから。また「困難に負けない」は、厳しい冬季に他の花に先駆けて花をつけることから生まれました。ことしもここに石蓆の花も私も 山頭火



—— 峡西病院の理念 ——

「その人らしさをともに創造する」

人生の新しい目的や意味を一緒に考え、
より良い人生を伴走していく

令和5年度 精神保健福祉事業功労者表彰 伝達式・表彰式

去る10月24日(火) 令和5年度精神保健福祉事業功労者表彰伝達式・表彰式がベルクラシック甲府にて行われ、当法人の関係者については下記の表彰を受けました。受賞の栄に浴された皆様、本当におめでとうございます。



「精神保健福祉功労者 厚生労働大臣表彰」

名誉院長 浅川 理

精神科医として地域の精神障害者の入院・外来医療に尽力し、また精神保健医療の経験を活かし、教育、産業、福祉等の様々な分野において地域の精神保健福祉活動に従事しているなど功績顕著につき受賞されました。

「山梨県精神保健福祉協会会長賞 地域活動支援センター」

きがる館

平成9年に地域生活支援センター「きがる館」が開設されました。地域生活者の過ごす場、相談支援の場、活動の場としての役割をはずたす当時県内初の施設でした。以来、退院促進事業の実施、地域ふれあい交流事業、ハートふれあい祭り、山梨県精神障害者社会復帰関係施設連絡会の運営、旧櫛形町精神保健福祉連絡会事務局等々、常に当事者活動に尽力してききました。今般その功績顕著につき受賞されました。

DPAT実働訓練

10月14日、中部ブロックのDMAT実働訓練があり、それに連携する形で、DPAT実働訓練も行われました。

地震等の大規模災害が発生した際、多くのケガ人が発生します。当然、被災都道府県内の医療機関は、その方たちの治療にあたりませんが、搬送する道路の陥没や浸水、落下物などによる交通障害、電気やガス、水道などのライフラインの停止、医療資材の不足、医療従事者の負傷等により十分な医療を提供できなくなるおそれがあります。それに備えて、各都道府県では、それぞれの医療機関に「DMAT(ティーマット)」という災害時に

医師や看護師らを派遣できるチームを整備しています。そして災害発生時には、全国のDMATが各都道府県から被災都道府県に向けて出動し、応援に駆け付けるという仕組みになっています。

従来は、そのDMATが中心となり、主に身体的な治療を要する方へのケアに当たってきました。しかし平成23年3月11日、東日本大震災が発生。ある精神科病院が津波に襲われました。しかしライ

フラインの停止により救援要請を出せず、職員自身の家族の安否もわからぬまま、被災当日に勤務していた職員達がケアに当たりまし

た。その後3日間もの間、救助の手は届かず。最終的に被災によるケガで24名の死者を出してしまつた痛ましい事例がありました。その他、被災後の調査により、精神症状のために避難所に入らず、避難所を転々とすることを余儀なくされた事例やDMATに精神科薬の用意が十分なケアができなかった事例等が明らかとなりました。

それを受けてメンタルヘルスを専門とした災害派遣精神医療チーム「DPAT(ディーパット)」の設置を国が呼びかけ、全国の医療機関においてDPATを設置。当院にも設置されました。

例年中部ブロックの近隣の持ち回りでDMAT実働訓練という大規模合同訓練を実施しており、今年には山梨県が幹事となったことを受け、10月14日DMAT実働訓練に連携する形でDPATの実働訓練も合わせて行われ、当院も訓練に参加しました。

近い将来、中部地区を震源とする南海トラフ地震が発生する可能性が指摘されています。今回当院は被災病院という想定で訓練に参加しましたが、DPATの一員として災害発生時に遅滞なく行動できるよう、日ごろの備えをしていきたいと感じました。

(参考)：河北新報2015年12月12日

令和4年度 目標管理発表会



◇殊勲賞◇
OT・PTG
清水 悠司

目標

- ①心理社会的治療支援プログラム（以下、心社P）の見直しや新規セッションの立ち上げを行う
- ②心社Pを病院全体で運営できるような仕組みや普及活動を実施する

目標設定の背景

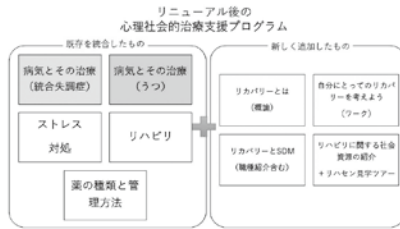
心社Pとは当院で主に入院患者向けに実施している心理教育的アプローチの一つである。構成が疾患別の内容になっていて対象が限られており、大幅な改定もなされず現在に至っていた。

リカバリー志向の病院を目指していく病院の方向性がある中で、治療プログラム委員会としても数年かけて内容の改訂に向けた検討を重ねてきた。今年度はこれらを形にするこ

取り組み内容1

①プログラムのリニューアル
委員会メンバーにて分担し新規に作成したり、既存のセッションの統合や手直しを行った。図1参照

図1



取り組み内容2

②職員への周知
改訂に関する職員への周知としては以下の方法で取り組んだ。

- ・新しい心社Pに関する勉強会をA病棟中心に年間通して実施
- ・C病棟では病棟委員会スタッフによる伝達講習会を実施
- ・法人内職員向け研修のミニ研修枠にて内容を紹介
- ・院内電子掲示板にて情報掲示
- ・OTスタッフへは運営会議にて進捗状況や具体的なセッション内容を報告

取り組み内容3

③患者への周知
新しくなった心社Pの全体像が分かる案内ポスターを作成し各病棟に掲示した。図2参照

図2

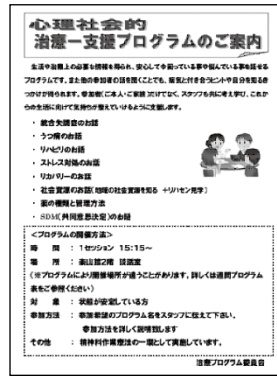
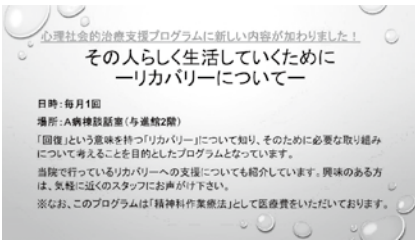


図3



取り組み内容4

④記録シート改変
運営上の質問や意見、スタッフとして気づいた事などを記載していく方式に変更。

取り組み内容5

⑤運営準備
プログラムを運営する新しい担当スタッフと各セッションの当日の進行方法や役割分担などを念入りに打ち合わせて運営上の不備がないか確認したり、不安の解消を図ったりした。

結果

概ねスケジュール通りに想定していた全てのセッションの導入を終えることが出来た。疾患論だけでなくリカバリーを中心としたテーマ別に内容を改定したことで、A病棟入院患者における年間の心社Pへ参加者割合としても前年度が24%に対し、今年度は38%で増加することが出来、より多くの方へ提供することができた。

まとめ

今回リカバリー志向による心社Pのリニューアルを行うことができた。今後プログラムに参加される患者のパーソナルリカバリーにどのようにつながっていくかなど導入後の検証を行っていききたい。またこれからも時代に合わせて内容をアップデートし続けていきたい。

11月9日
新任者研修

「トランスファーについて」

若尾理学療法士を中心に講義をする機会がありました。当日6名の対象者の前で実技を含めた講義をしました。「いつもの介助の仕方」を言葉に表すことの難しさを痛感しました。来年またリベンジしたいと思います！



10月21日(土)、芝生広場でカラオケ大会を行いました。事前に歌いたい方を募り、多くの方の参加希望がありました。時間の都合もあり病棟、老健、リハビリテーションセンター(以下、リハセン)などから各2名程が参加し午前9名、午後8名の方が熱唱しました。カラオケ会場の周りでは、他部署からの協力を得て焼きそば、今川焼、クラッシュジュースのブースを作り飲食の提供を行いました。皆さんが希望のブースに食べたいものを取りに行ったり、スタッフがテーブルまで届けたりしました。テーブルではカラオケを聞いたり他患と談笑したりしながら美味しそうに食べていました。当日は天気にも恵まれ暖かな日の光を浴びてのんびりと過ごされ、大盛況の会となりました。

カラオケ大会

リハビリテーションセンターだより

「秋のフレンズ行事」が開催されました

10月23日(月)、リハビリテーションセンターの秋の行事が行われました。今回は「BBQ」と「河口湖への外出ツアー」の2本立ての開催となりました。

BBQは院内の芝生広場にて行われ、晴天の中、お肉をはじめ、野菜や焼きそば、おにぎり、豊富なメニューが用意され、たくさんの方から「お腹いっぱい…!!」の声を聞くことができました。火おこしや調理などみなさんに協力いただき、とても楽しく、達成感のある時間となりました。

河口湖への外出ツアーでは、宝石博物館の見学と大石ハナテラスの散策を行いました。こちらも暑いほどの天候の中、壮大な富士山を近くに感じながらソフトクリームを食べたりと、久しぶりの遠出を楽しむことができました。

行事は年4回開催されており、メンバー主体となって企画を行っています。次の行事は何かな?とすでに楽しみです…!

プログラム紹介

「リハセン新聞作成」

【活動曜日】 第4金曜日

【活動場所】 ミーティングルーム1

【活動内容】

リハセン内の情報を、利用されている皆様に発信する手段として「リハセンフレンズ新聞」を発行しています。この新聞を作成するプログラムがリハセン新聞作成プログラムです。

記念すべき第1号は令和元年9月25日に発行されました。その時の記事は、まだ建設中であつた与進館にリハセンが移ること、移った後のリハビリの内容(3つのユニットに分かれ、それぞれの目的に合った活動を行うこと)についてでした。4年経ち、現在は2~3名の記者とともに毎月活動しています。記事の内容やレイアウトなどをあれこれ話し合うのは楽しい時間です。また、新聞が出来た時の喜びや達成感も味わえる活動です。

興味のある方、見学や利用をお考えの方は、スタッフまで気軽にご相談ください。 ☎055-282-2151

*ホームページをぜひ、ご覧ください。

関西病院 リハビリのご案内 検索

ろうけんTimes

TOPICS

今月の



3F
通所
リハビリ



デイケアでは、毎年恒例のハロウィンパーティーを行ないました。パーティーに間に合うように職員と利用者様で力を合わせて、大きなかぼちゃなどの飾りを作成しました。様々なお菓子を食べながら、雰囲気を楽しめました。

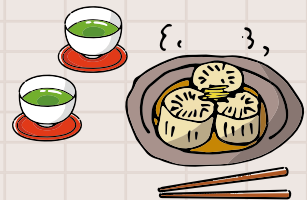
2F
認知症
専門棟



OT主催の喫茶レク『甘味処』が開店しました。特製の大根の煮物とともに、甘酒、おしるこ、コーンスープなどの飲み物を召し上がりました。また、希望者には抹茶を目の前で点てて、本格的な抹茶も楽しまれた様子でした。

『甘味処』を時間が許す限り、職員と一緒に楽しめました。いつものおやつと違い、特製の大根の煮物に舌鼓を打ちながら、憩いの時間を楽しまれた様子でした。

1F
一般棟



* 峡西老健のホームページもご覧ください。

峡西老健 検索



峡西老健の理念

優 優しさ 友 友愛 結 人と人

～あなたに優しく、あなたを想い、あなたと結ぶ～

本の紹介コーナー

今回は、P.N.稗田礼二郎さんにおすすめの本を聞きました！

本の題名：暗黒神話

(作者：諸星大二郎／出版社：集英社)

●読んだきっかけは？

10年ほど前、妖怪ハンター(こちらもおすすめ)を読んだ流れで…。唯一無二と称されることの多い諸星マンガは自分の好みで、ハズレがないので!!

●おすすめのポイントは？

幼い頃に亡くなった父親の死の真相を探る中で、ある洞窟にたどり着く。その洞窟の中で遭遇したのは…。ありがちな始まりですが、ここから想像を絶する、壮大な物語が展開されます。

数えきれないほど読んでいるのに、読み返すたびに初見と変わらず心震える作品です。神話や遺跡、登場人物それぞれの苦悩、作品全体を覆う作者独特の不気味な雰囲気…。もう40年以上前の作品ですが、10年前に読んだ自分の心はがっちりと掴まれたままです。未だに、自分が主人公の少年だったら何を選択するのか…などと思いを馳せるのです。

特定医療法人南山会は常によりよい医療を行うことによって、地域社会に貢献することを目的として設立されたものである。職員は常に技術の向上に心掛けるとともに、知性を磨き品性を養い、自己の人間形成に努めるべきである。

■ 職業倫理

1. 患者の人格の尊厳と権利を尊重し、心のこもった対応をして信頼を得ること。
2. 最善の医療を提供するために、常に学術的知識と技術の習得に努めること。
3. 自らの義務と責任を自覚して人格を高めること。
4. 職場内外の医療専門職の権利を尊重すること。
5. 医療の公共性を重んじて地域社会に貢献するとともに、法規範を遵守すること。
6. 良質の医療を提供するために、自ら心身の健康保持と増進に努めること。
7. 精神障害者に対する理解を深め、精神障害者とその障害を克服して社会復帰をし、自立と社会経済活動への参加をしようとする努力に対して協力すること。

私の趣味は「ペット」です。ヒヨウモントカゲモドキというヤモリを4匹、60cmの水槽が2つ、ハムスターを飼育しています。毎日ご飯をあげたり、水を換えたりとやることも多く大変ですが、仕事終わりなどに水槽を眺めたり触れ合ったりすることは日々のストレスや疲れを癒してくれます。これらの時期は寒くなってくるので、温度管理が必要になってきます。これからの電気代が恐ろしいです。ヤモリは一般的にはあまり好意的に見られないことが多いと思いますが、実はとても魅力的であり個人的にはおすすすめです。犬や猫の様になつくことはほほありません。しかし、私の姿を見るとシエルターから出て来てご飯をおねだりするうちに、こちらの様子をうかがっています。その時の表情が何とも言えない可愛さ



をもっています。触ったときもひんやりぶにぶにしており、いつまでも触っていたくなってしまう。水槽には熱帯魚が複数はいっており、見る角度によって柄の見え方や光り方が違い面白いです。水槽の中には熱帯魚以外に水草も入っているため水草の成長も楽しめます。熱帯魚たちはエサをあげようと近づくと集まってくるのが可愛くてついつい多めにあげたくなってしまうですが、あげすぎも良くないのでグッとこらえて我慢することが大事です。プライベートでも大きな環境の変化があり未だに慣れずに大変ですが、ペットたちに癒されながら仕事も頑張っていきたいと思っています。

リストार्ट 伊藤

万華鏡

指揮者というどんな存在を思い浮かべるだろうか。皆の前でやたら腕を振っている人とか、四拍子の図形を必死で描いている人などが思い浮かぶのだろうか。

指揮にも基本的な技術があり、日本式の指揮法である斎藤方式では、叩き、しゃく、平均運動など多くの基本的な動きがあり、状況に応じてこれらを使い分けるようになっていく。しかし、絶対の方法があるわけではなく、要は演奏者達が指揮者の

望む演奏をしなくなってしまうような方法がいいのである。これは演奏者が学生レベルであっても成立し、演奏者本人さえ気づかぬうちに指揮者の要求通りに演奏してしまうということが起こりうる。こつこつ指揮ができるのであれば、振って伝わることを喋るのは時間の無駄になるし、いつでも指揮者の要求通りの演奏になる。振った通りに演奏してくれるというのにはありがたいことだが、それは指揮者が気を抜けないことも意味する。ちよつと別のことを考えると演奏が変わってしまうのだ。それでも、こつこつ非言語的なコミュニケーションは楽しいし、当事者以外が想像するよりはるかに多くの情報が交換できる。指揮に思うように反応しないときには、演奏者が本当にやり

たい演奏が伝わってくるので、じゃあそうやってごらんと指揮を変えるのと、急に生き生きとした演奏になる。プロの指揮者の中には、演奏する曲の楽譜の全てを覚える人もいる。私はそこまでできないが、指揮をするときに本番では楽譜が不要な程度には暗譜する。指揮をすることは演奏することでもあり、楽譜からは離れて、自分の中にその曲を構成し、それを全身全霊で表現することが重要であり、それには楽譜を見るのは邪魔になる。

演奏者のやりたいことを察知し、自分のやりたいことと合成し、それを演奏者に、音が鳴るほんの僅か前に提示し続けるのが指揮をするということである。

診療部 長坂

こちら編集室

ついこの間までは、二ユース等で「季節外れの夏日が」といったフレーズをよく耳にしていたように思います。かと思えば今度は一気に気温急低下、秋をすつ飛ばして冬に突入といった雰囲気になってしまいました。実際、あまりに急激な温度変化のために、木々は色づかせる前に葉を落としてしまい、今年の紅葉は例年に比べてイマイチであつたようです。

山々が錦に染まる様子を楽しみに行っている人間からすると、この状況はとても寂しいものですが、ふと、「木々にとつて、この異常（に思える）気象はどうだったか」などと考えてしまいました。長かった夏にいつぱいの日差しを浴びて、ぐんぐん成長できたことを喜んでいたので、例年とは異なる季節の移り変わりに、ストレスを感じたり体調を崩したりしたのでしたら、か。お話しできるものならば、一度彼らに直接聞いてみたいところですが、その機会は私が生きていく間には訪れそうにないことが残念です。

ふと遠くに目をやれば、いつの間にか八ヶ岳の頭は真っ白に。夕暮れの空は、日に日に透明感を増していきまます。これからもうと寒くなっていくのだなあ、そういえば、年末もすぐそこだ。なんとなく慌ただしさを感ぜながら、年末年始の仕事の進め方や、家の大掃除の計画を考えるのでした。

今月の予定 12月

- 2日 院内研修 看護副主任研修
- 23日 院内研修 看護主任研修
- 27日 院内研修 看護リーダー研修
- 28日 年内外来最終日 (1月4日外来診療開始)

今月の一枚



おねだりしている我が家の愛犬プリンです。

おあしす広場

今月もおあしすに素敵な作品が寄せられました。

年忘れテレビ見ながらそばを食う
石坂 克巳

焼き芋の香にさそわれ子等の笑み
カナメ

年の瀬の夜間配送急ぐ君よ
恵風

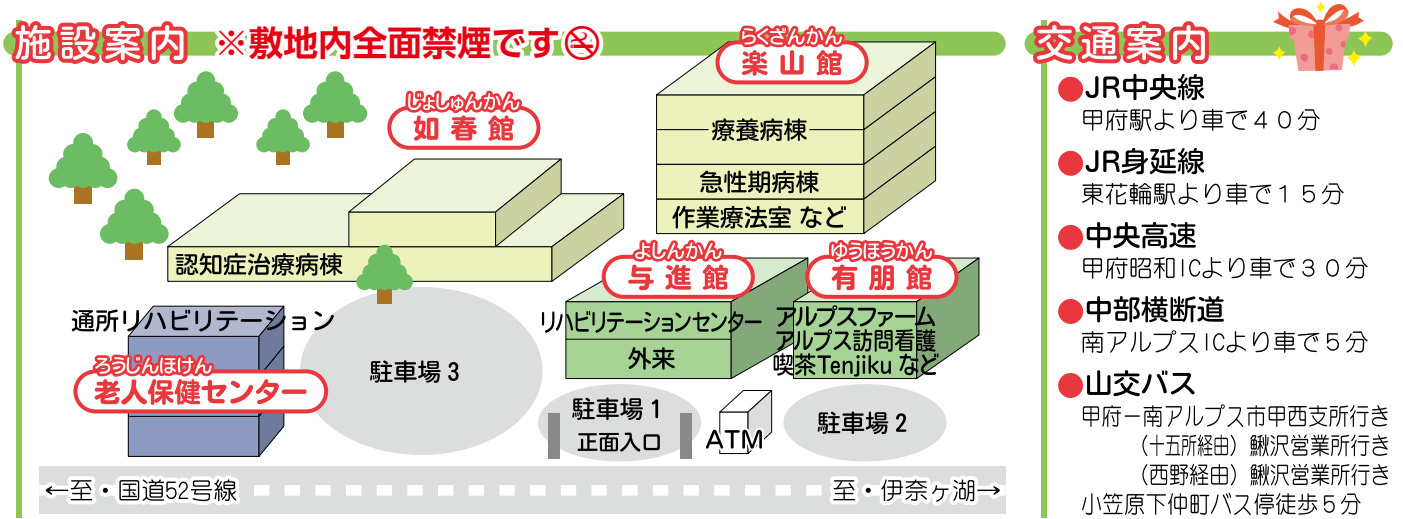
冬晴れや鈍歯の如きハツの峰
塚原 光明

年の暮雑炊たいて朝食に
保坂五十鈴

不思議なくらい力がわいてくるね
渡辺奈美子

※掲載は五十首順です。

施設案内 ※敷地内全面禁煙です



5ヶせんかん 楽山館
 療養病棟
 急性期病棟
 作業療法室 など
 3ヶせんかん 如春館
 認知症治療病棟
 2ヶせんかん 与進館
 リハビリテーションセンター
 外来
 ゆらほろかん 有朋館
 アルプスファーム
 アルプス訪問看護
 喫茶 Tenjiku など
 るしんほけん 老人保健センター
 通所リハビリテーション
 駐車場 3
 駐車場 1 正面入口 ATM
 駐車場 2

←至・国道52号線 至・伊奈ヶ湖→

交通案内

- JR中央線
甲府駅より車で40分
- JR身延線
東花輪駅より車で15分
- 中央高速
甲府昭和ICより車で30分
- 中部横断道
南アルプスICより車で5分
- 山交バス
甲府-南アルプス市甲西支所行き (十五所経由) 鵜沢営業所行き (西野経由) 鵜沢営業所行き 小笠原下仲町バス停徒歩5分

月刊おあしす第436号 1987/9/5創刊 発行所 〒400-0405 山梨県南アルプス市下宮地421 TEL 055-282-2151 FAX 055-284-4886 URL <http://www.nan-zan.or.jp>

特定医療法人 **南山会** * 広報委員会 * 大槻清志、対馬鈴香、堀内園香、柴沙也佳、澤登祐弥、渡辺敏夫、伊藤貴文、米長美奈、川口 敦

次回437号も お楽しみに!